

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:30年10月29日

事業所名 : エントランス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースを確保している	・高学年のお子さんばかりだとスタッフを合わせれば少し狭い気がします (はい42、どちらともいえない6、いいえ0、わからない6)	現状を維持する
	2 職員の適切な配置	スタッフ1名につき利用者2~3名の支援体制になるように配置	・非常勤スタッフがどのような資格を持っているのか、どこかの学生なのか教えてほしい ・どのような専門性があるかわからない ・心理カウンセラー、言語聴覚士いるともう少し相談が出来るそう (はい40、どちらともいえない10、いいえ0、わからない10)	・スタッフ個人の経歴を公表するのではなく、事業所に勤務をしている資格保有者の人数の公表を検討する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・賃貸物件なのでバリアフリー化の工事は難しい、所内は可能な限り障害の特性に応じた環境作りを心掛けている	・学習のスペースはパーテーションで構造化されています (はい45、どちらともいえない1、いいえ0、わからない9)	今後も児童の状態に合わせた環境を設定をする
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	1日1回共有スペースの清掃、月に1回程度おもちゃの消毒	・見学をしていないので部屋の様子がわかりにくいです (はい48、どちらともいえない1、いいえ0、わからない6)	心地よい空間づくりに気を付ける
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	社内で年間の目標管理の面談を社長と実施 今年度の目標設定と半年ごとの振り返りを行う	/	継続をする
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・外部の評価は現時点では実施なし	/	今回の保護者評価を元に業務の改善を図るとともに、外部による評価(法人内の事業所職員など)の実施を検討をする
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内全体での研修会及び、事業所内の勉強会を適時実施	/	今後も実施をする
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	共通のアセスメントツールはないが、家族のニーズを確認しスタッフ間で検討し支援内容に反映	(はい51、どちらともいえない3、いいえ0、わからない1)	アセスメントのために共通のツール作成、使用を検討する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	児童の状況に応じて個別と集団の活動を設定、ただしすべての支援計画には個々の状況を考え、個別活動のみの目標や集団活動のみの目標を設定した支援計画を作成		今後も個々の状況に応じた支援計画を作成する
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	現在使用している支援計画には「項目」を設定していない書式を使用 それぞれ設定されている目標に対しての支援内容を記載	・具体的ではありません (はい50、どちらともいえない3、いいえ0、わからない2)	支援の幅が広い為、書式に項目を設定するのは難しいが、使用する教材、支援内容を具体的に支援計画に記載する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画は主にその児童を担当するスタッフが確認できるように個人ファイルにファイリング。また担当するスタッフを2~3名で固定し、統一した支援ができるようにしている	・事業所で取り組んだ課題を月に1度持ち帰らせてほしい  (はい46、どちらともいえない2、いいえ0、わからない7)	家族、児童の希望に対して課題を持って帰っていただけるようにする
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	会議で内容を検討し実施、実施後は非常勤を含めたスタッフ全員に周知		今後も実施をする
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ご利用家族からの相談があった時には、適時対応している		今後も実施をする
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月に1度、全体での活動を企画し実施、夏休みなどの長期休暇は、別企画を準備。クリスマスなどの季節を感じる行事は毎年実施するが内容を変更して実施	(はい43、どちらともいえない4、いいえ0、わからない9)	今後も児童が楽しめるようなプログラムを企画する
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日利用の児童の申し送りや送迎車両が到着する時間などを確認するミーティングを実施		今後も実施をする
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	児童が帰宅後に当日の特記事項、家族からの要望、連絡帳のコメントを共有するミーティングを実施		今後も実施をする
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	前日の振り返りと当日の確認を全体のミーティング前に正社員のみで実施 全体に共有する内容を確認する		今後も実施をする
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	9月末と3月末にモニタリングと計画の見直し、モニタリングの為に会議を実施		今後も実施をする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	依頼があった時は主に児童発達支援管理責任者が参加 必要に応じて主として担当をしているスタッフを加えて参加		依頼があった時には積極的に参加する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	家族からの依頼で中学校との連携、情報共有を実施中 児童発達支援学校(小学部)からの引継ぎが不十分なところがあった		児童発達支援事業所と連携をし、支援内容の引継ぎを充実させる
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在までで情報提供の依頼はなし 活動の様子を見学に行ったことはあり		事業所の見学は今後も実施する 情報提供については、家族に対して事業所として可能であることを周知する
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市内の事業所連絡会に参加 支援センター主催の研修会は非常勤を含め全員が参加できるように社内に掲示 必要に応じてスタッフを指名し参加を促す		参加を継続する
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在、交流の予定は無し 望んでいない家族も一定数いるため実施を見合わせている	・よくわからない・・・3名 ・あまり聞いたことがありません  (はい7、どちらともいえない9、いいえ13、わからない28)	家族の意見を聞き、交流の可能性を検討をする
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の商店会の会員として活動 事業所主催の行事を実施したことはないが、会社として地域のお祭りに参加		地域の行事には今後も参加をする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書に記載 希望の方には別途説明をしている	(はい47、どちらともいえない5、いいえ0、わからない2)	今後も実施をする
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個人面談の時に支援内容を説明している	・面談で詳しく説明をもらった (はい53、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1)	今後も実施をする
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在まで企画、実施等は無し	・参加したことがない ・よくわからない (はい17、どちらともいえない13、いいえ8、わからない17)	ペアレント・トレーニングが必要な家族に対しての実施を検討中 今後は全体の企画としても検討する
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎で家族が来所された時、様子をお伝えしている また連絡帳にて日々の様子、変化を報告している	・事業所での課題を月に1度持ち帰らせてほしい (はい46、どちらともいえない6、いいえ0、わからない3)	家族と共通理解を徹底する
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	問い合わせがあった時は適時対応、必要に応じて面談を設定している	・「定期的に」という期間がよくわかりません (はい42、どちらともいえない6、いいえ1、わからない6)	今後も家族からの相談に対してはその都度対応をする
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会、保護者会なし	(はい8、どちらともいえない11、いいえ13、わからない24)	家族内で設立の機運が高まった時は、設立に向けて協力する
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	事業所内に苦情受付窓口をを設置 苦情を受け付けた際は、運営規定にのっとり対応する(現時点で苦情受付件数0件)	・子供から苦情を言ってきたことがなく、わかりませんが楽しく通わせて頂いています (はい31、どちらともいえない6、いいえ0、わからない20)	窓口は引き続き設置していくとともに、苦情があった時は真摯に対応をする
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要な児童に対しては、オリジナルの意思伝達カードや、PECSを使用中	(はい43、どちらともいえない8、いいえ0、わからない5)	今後もオリジナルのツール作成や、コミュニケーションの為の支援をする
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	日曜教室だよりを発行(毎月) 避難訓練や長期休暇中のイベントについてはその都度プリントにてお知らせ HPでも活動を報告	・よくわからない・・・2名 (はい30、どちらともいえない13、いいえ1、わからない12)	HPでの活動報告に関して、家族への周知が不十分なので、周知をする
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	社員には秘密保持に関する誓約書を入社時に取り交わしているとともに、子どもの個人情報使用に関する同意書を保護者よりいただいている	(はい48、どちらともいえない3、いいえ0、わからない6)	継続をする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアル(感染症、危機管理)を作成し運用中。感染症のルールについては連絡帳にプリントを添付	(はい50、どちらともいえない2、いいえ2、わからない2)	必要に応じてマニュアルを改訂し、周知徹底を継続する
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回の避難訓練(うち1回は総合訓練)と今年度は1月にシェイクアウト訓練を実施予定 保護者とは防災用のメール訓練を年1回実施	(はい34、どちらともいえない6、いいえ3、わからない13)	年3回の訓練は継続をする
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	社内での研修会、事業所内での勉強会を実施 虐待防止・虐待時対応マニュアルを作成、運用中		今後も研修会等を実施をする
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要とする子どものご利用が現在なし		必要とする子どもの利用があった場合は、関係機関と連携し支援をするとともに、事業所内の支援計画に記載をする
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	家族からの聞き取りのみ 重篤なアレルギー症状を持っている児童の利用はなし		アレルギー対応が最優先の児童の利用があった場合は、家族、学校、関係機関と連携し医師からの指示書に基づいて支援をする
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットは法人内の児発管で毎月共有 大きな事例の場合は事業所内の会議でスタッフに共有		今後も法人内の事業所の事例を事業所内で共有をする